

令和8年度「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修(第1期)募集要項

1. 研修概要

■ 研修内容

- ・ 令和8年度「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修第1期をオンラインによるオンデマンド形式で実施します。

コース	開催日・対象	定員
防災基礎	開催日：令和8年6月1日(月)～令和8年7月31日(金) 講義：「研修カリキュラム」を参照	3,200名

- ※ 防災基礎コースについては、第2期、及び第3期でも開催を予定しています。
有明の丘研修第1期：6月～7月(今回)
有明の丘研修第2期：9月～11月(予定)
有明の丘研修第3期：12月～3月(予定)

■ 研修方法

- ・ オンデマンドによる講義動画を視聴していただきます。
 - ☞ 講義動画は10時間程度となっておりますが、研修期間中に視聴すればよく、また、PCだけではなくスマホやタブレットでも視聴が可能なので、計画的・効率的に進めることができます。
 - ☞ 第1期(防災基礎コース)については、オンラインによるオンデマンド形式のみの研修となります。

■ 講義動画の視聴方法

- ・ 講義動画の視聴には、Platonというオンライン学習管理システムを使いますが、通常のWebサイトにアクセスできるPC、スマホ、タブレットがあれば、新たにアプリをダウンロードする必要はありません。
 - ☞ PC等のOS・ブラウザは最新バージョンを推奨します。また、動画視聴には大容量のデータ通信が生じるため、接続環境は固定回線をお勧めします。
 - ☞ 以下のサイト・QRコードが動画視聴も確認できるデモ画面となっております。
<https://marketing.platon.jpn.com/>
お使いの端末でアクセスできるか、応募前にご確認ください。
IDとパスワードを求められた場合、以下をお使いください。
ID: demo1 パスワード: demo1pass



- ・ 受講の決定通知にあわせて、講義動画を視聴するためのサイトへのアクセス方法、IDとパスワードをお送りします。

■ 修了認定

- ・ コース毎に最後に確認テストとアンケートを実施しますので、それらをご提出いただくことで、修了認定となります。
- ・ 修了認定については、メールでご連絡します。また、修了証については、オンライン学習システム、または、メールにより、PDFファイルで発行します。

■ 必要経費等

- ・ 受講料は無料です。

2. 応募要領

■ 募集期間

- ・ 令和8年4月20日(月)13時00分 から 5月13日(水)17時00分まで

■ 応募条件

(1) 所属

- ・ 本研修の趣旨から受講対象者は、国、地方公共団体、災害対策基本法の規定に基づく指定公共機関および指定地方公共機関に加え、今年度からコース①「防災基礎」は被災者援護協力登録団体、災害中間支援組織、社会福祉協議会の職員も対象とします。

☞ 防災・危機管理所管部署の職員には限定しません。ただし、外部委託事業者等を除きます。

(2) コース①「防災基礎」の修了

- ・ 災害対策や組織運営の前提となる制度等を防災基礎コースで学ぶため、第2期以降に他のコースを申込み場合は、事前に防災基礎コースを修了していることが条件となります。

(3) 所属組織からの承諾

- ・ 応募にあたっては、所属している組織の管理職の方、または、それに相当する方の承諾を得ておいてください。

■ 応募方法

- ・ 応募にあたっては、以下のサイトの応募フォームに、お名前、所属団体・部署名、職種、担当業務、職位、連絡先、受講可否通知先(メールアドレス)、受講希望コース等の必要事項をご入力・送信してください。

<https://bousai-sp.go.jp/introduction/ariake/>



■ 受講者の決定

- ・ 応募者数が定員を超過した場合、抽選により受講者を決定し、受講の可否については、募集期間終了後、すべての応募者にメールでご連絡します。
- ・ 受講決定者には、受講決定通知と講義動画を視聴するためのサイトへのアクセス方法、IDとパスワードをお送りします。
- ・ 受講決定後の受講者の変更はできません。また、受講をキャンセルする方がいた場合でも、再抽選等による追加の受講決定は行いません。

3. その他

本研修には、例年、多くの方からのご応募をいただいております。しかし、その中には、研修を途中で中断されてしまう方もいます。業務多忙など様々な事情があるかとは思いますが、抽選等に漏れた他の方々の方々の研修機会が失われていることも踏まえると、それは大変残念なことです。

また、受講者が所属する組織の管理職の方々には、学習効果の向上やワークライフバランスの観点から、極力、受講者が勤務時間内に講義動画の視聴等ができるよう、ご配慮のほど何卒よろしくお願いいたします。

なお、本研修の詳細については、下記サイトにて適宜、情報提供いたします。また、本研修にかかる業務は(株)サイエンスクラフトに委託しています。ご不明な点については、事務局までお問合せください。

【主催】内閣府 担当:政策統括官(防災担当)付参事官(訓練・人材育成担当)付
洲永・伊藤・黒木・平瀬・市川 電話:03-5797-7603(直通)

【事務局】〒102-0085 東京都千代田区六番町13-7 中島ビル2階
(株)サイエンスクラフト 担当:武田・清水・坂口
電話:03-6261-5903 E-mail:kenshu@scraft.co.jp

■ 研修カリキュラム【令和8年度第1期】

① 防災基礎：コースコーディネーター 牛山 素行（静岡大学）		
必修		
1	概論	防災・危機管理の基本的な考え方や、我が国の自然特性、近年の災害事例について学ぶ。
2	風水害	風水害発生メカニズムと、風水害災害による被害の概要について学ぶ。
3	地域の脆弱性と被害の実態	自然災害による人的被害の実態を理解し、地域ごとの災害特性やハザードマップの読み方、風水害、地震のハード対策を学ぶ。
4	災害法体系・防災計画・災害への備え	防災活動全体の流れや災害関連法の体系、防災関連計画、政府の初動体制、防災人材育成、地区防災計画、個別避難計画等の概要を学ぶ。
5	災害から命を守る	「災害から命を守る」ための基本的な知識として、防災気象情報の概要や、避難情報の意味や内容を学ぶ。
6	被災者の応急救助	災害救助法の概要を理解し、被災者のいのちを守るために行う活動の概要や事前に備えておくべきことを学ぶ。
7	災害から暮らしを守る	避難所の開設・運営、災害廃棄物処理、被害認定調査、災害ケースマネジメント等、行政が行う手続きの基本を学ぶ。
8	災害時の応援・受援体制	災害時に行う応援受援に係る制度、受援体制の構築および受援計画の作成、応急対策職員派遣制度等の概要について学ぶ。
9	災害から回復する	被災者生活再建支援制度、災害弔慰金・災害援護資金、激甚災害制度、大規模災害からの復旧・復興、インフラ復旧の基本を学ぶ。
10	多様な視点からの災害対応	地域の多様な主体が避難所運営に係ることの意義や、災害時における男女共同参画の必要性等について学ぶ。
選択		
11	地震・津波災害のハザード	地震・津波発生メカニズムと、その災害の被害、地震・津波の観測・予測情報、防災対策の基本を学ぶ。
12	火山災害のハザード	主な火山の噴火現象、火山噴火の観測・予測情報、火山災害の被害や対策の基本を学ぶ。
13	大規模地震対策① 首都直下地震の対策	首都直下地震を対象に、その被害想定等や、「緊急対策推進基本計画」及び「具体計画」の概要について学ぶ。
14	大規模地震対策② 南海トラフ地震の対策	南海トラフ地震を対象に、その被害想定等や、「緊急対策推進基本計画」及び「具体計画」の概要について学ぶ。
15	大規模地震対策③ 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の対策	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を対象に、その被害想定等や、「防災対策推進基本計画」及び「具体計画」の概要について学ぶ。
16	大規模地震対策④ 東日本大震災の教訓	東日本大震災の復興過程で明らかとなった主たる課題や困難、そこから得られた教訓について学ぶ。

- ・ カリキュラムは変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。